



急性期領域の輸液管理と 実践で求められる 水・電解質・酸塩基平衡の知識

※講義時間:230分

**要点を繰り返しおさらい!
事例を基にした解説で
理解を深める、実践で生かせる!**

**基礎からさまざまな症状や病態における
輸液管理の実践まで段階を追って解説!**

薊 隆文氏

名古屋市立大学大学院
看護学研究科 研究科長
病態学(麻酔学)教授/医学博士

録画配信

[視聴期間]

オンライン

約2週間 23年9/4(月)から
視聴可能になります。

※申込締切:23年11/27(月)

受講料
(税・送料込)

一般 **13,000円** 会員 **10,000円**

※教材:PDFテキスト付(ダウンロード、プリントアウト可)
冊子テキスト(112頁)ご希望の方は別途2,500円

プログラム

- 1. 理解を深める体液などの基礎知識のおさらい**
1) 体液分布の原理などの基礎知識 2) サードスペースと浮腫
3) 浸透圧とは? 4) 輸液と輸血の違い 5) 練習問題
- 2. 急性期の輸液管理に生かす水・電解質の理解**
1) 水と電解質 2) 水とNaで考える体液異常 3) 水とNaで考える脱水症
4) 水とNaで考える低Na血症と高Na血症 5) 練習問題
- 3. 急性期の輸液管理に生かす酸塩基平衡の理解**
1) 酸塩基平衡の考え方~どうやってpH=7.4に保っているのか?
2) アシドーシス・アルカローシス 3) 呼吸性と代謝性 4) 治療戦略
5) ピットフォール:代謝性アシドーシスの補正 6) 練習問題
- 4. 急性期輸液管理に必要なモニター・検査**
1) 血圧・脈拍数・尿量・CVPなどの古典的なモニター
2) 非侵襲的な心拍出量測定法 3) SVVなどの新しいモニター
4) 呼吸のモニターで輸液量を評価する? 5) 練習問題
- 5. 急性期領域における輸液の実践知識**
1) 急性期領域における輸液療法の考え方
2) 押さえておきたい輸液製剤の特徴(1~4号、電解質、糖質、栄養)
3) 輸液の選択、量、質、速度の考え方 4) in/out/バランスの考え方
5) 輸液をどこから、どのように? 6) 練習問題
- 6. さまざまな症状、状態における輸液
~それぞれの問題点と管理のポイント**
1) 脱水 2) 出血 3) 心不全 4) 敗血症
5) 脳浮腫 6) 食道がん術後 7) 練習問題
- 7. まとめ**

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります▶

日総研 17261

検索

関連雑誌

Web教材+隔月刊誌(定期刊行物・会員制)

現場で即、使える! 後輩指導にも役立つ!

重症集中ケア

A4変型判 96頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,900円(共に税込)

8-9月号以降の特集

- 重症患者のcomfortを考える![8-9月号]
- クリティカルケア領域におけるリスクマネジメント[8-9月号]
- ピットフォールはここだ!【心臓血管外科】【脳神経外科】【消化器外科】の術後管理[10-11月号]

あなたのキャリアを
アップさせる看護の
最新情報を

Twitter #日総研



日総研 **接遇大賞**

優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞

検索

お問合せ

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索